

見えないう SOS を見える SOS へ

12月3日(火)～9日(月)は障害者週間です。内部障がいのある人や妊娠初期の人などは、外見からは支援や配慮を必要としていることが分かりにくい場合があります。市では、支援を必要としている人にヘルプマークを配布しています。

知っていますか ヘルプマーク

ヘルプマークは、義足などを使用している人や内部障がいのある人、妊娠初期の人、認知症の人など外見からは支援や配慮を必要としていることが分かりにくい人が周囲からの支援を受けやすくなるためのマークです。



ストラップ型ヘルプマークとヘルプカード

ストラップ型ヘルプマーク

シリコン製のストラップをかばんなどに付けることで、周囲の人に支援が必要なことを知らせることが出来ます。付属のシールに氏名や連絡先、手助けしてほしいことなどを書いて貼ることも出来ます。

ヘルプカード

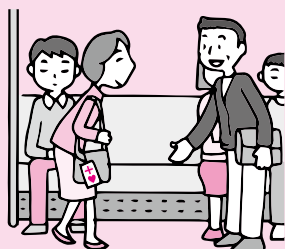
財布やパスケースに入れて普段から携帯しておくためのカードです。カードの裏に住所や連絡先、病名・障害名、手助けしてほしいことなど、必要な情報を書いて使えます。

利用するには

ストラップ型ヘルプマークと併せて持つことで、詳細な情報をスムーズに伝えることができます。

ストラップ型ヘルプマークとヘルプカードは、市の各施設で配布

ヘルプマークを見つけたら 思いやりの行動を

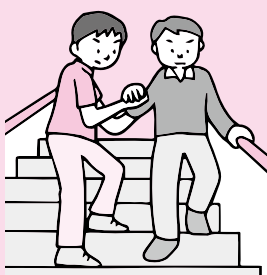


電車やバスの中では…

外見は健康そうに見える人でも、疲れやすい人や、立ったまま同じ姿勢を保つことが難しい人がいます。積極的に席を譲ったり、優先席へ案内したりしましょう。

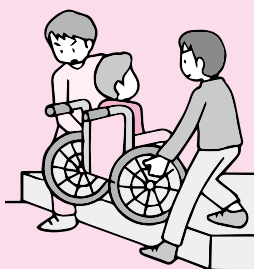
駅や商業施設などでは…

電車やバスが遅延・運休してしまうなどの突発的な出来事への対応が困難な人や、立ち上がる・歩く・階段を上り下りするのが難しい人がいます。声を掛けて助けましょう。



災害時や避難場所では…

視覚・聴覚障がいなどにより状況把握が困難な人や、肢体不自由で避難が難しい人、大勢の人がいる避難所でストレスを感じる人などがいます。安全に避難するための支援をしたり、避難所で声を掛けたりしましょう。



ヘルプカードは、市の各施設で配布しています。家族や支援者などの代理人による受け取りも可能です。

なお、ストラップ型ヘルプマークの配布は一人一個までです。対象は義足や人工関節を使用している人、心臓や腎臓など内部障がいのある人、妊娠初期の人、認知症の人、知的・精神障がいのある人、聴覚・視覚に障がいのある人のほか、必要と感じる人

配布場所は障がい者福祉課(市役所議会議棟1階)、下総・大栄支所、ほっとすまいるセンター(保健福祉館内)、赤坂ふれあいセンター(ヘルプカードのみ) ※くわしくは障がい者福祉課(☎20・1539)へ。